

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	(株)アプリコ アプリコ沢村教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 令和7年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 10日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を通して、自己コントロール力を育みます。	1週間同じプログラムを行う中で、継続する力・自己理解や解決力・基礎運動能力・社会性等を養うことを目的に、一人一人の運動能力や個性に合わせた運動提供を心がけています。 回数利用に応じて運動評価を配布することで、児童の得意な事や出来るようになったことを保護者と共有しています。	定期的に新しい運動を取り入れる事で、その時その時に必要な合わせた力を養っています。 月に1回他教室の職員と情報を共有し、改善点等を話し合いよりよい運動プログラムの構成を図っています。
2	長期日程には様々なプログラムを取り入れています。	保護者や児童のニーズに合わせながら、制作・買い物学習・運動・調理・レク等多様な活動を取り入れ、自立支援を行っています。 活動にはそれぞれ様々なねらいがあり、年齢に合わせた適切なサポートをすることで児童たちの「できた!」という達成感や自信へ繋げ更なる挑戦へ繋げています。	ニーズに応じて保護者が児童の様子を知る事ができるような活動を取り入れています。
3	学校で行う運動(マット・鉄棒・マット・跳び箱)をサーキットに取り入れています。	マット・鉄棒・跳び箱・縄跳びで出来る事や自信を増やしていくために、1週間サイクルで運動の中身が変化します。 【例：7月縄跳び】 1週目⇒「ジャンプ」に視点を置いた運動 ・両足を揃えてジャンプが出来るようになる練習 ・縄が引っかからないように高くジャンプする練習 2週目⇒「縄を回す」に視点を置いた運動 ・右手と左手が同じタイミングで回す練習 ・脇をしめて縄を回せるようになる練習 3週目⇒「タイミング」に視点を置いた運動 ・縄跳びをしっかりと見て足元に縄が来てから跳べるようになる練習 ・縄が回っている所へ外から入り跳べるようにタイミングを見極めて走り出す練習	1週間の中で利用回数が少ない児童が居るため、少ない利用の中でも達成感や自信を繋げられるように客観的に振り替えられる機会を設けたい。 【例：写真や取り組みの内容が分かる表を用いる】

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の入れ替えが多いこと	・女性職員が多い為妊娠出産といったライフステージが多くあること ・スキルや経験が必要なため、新人職員が自信がなく離職しやすくなってしまう	・産休明けでも戻りやすい環境設定 ・職員それぞれのスキルに合わせた研修
2	職員の経験やスキルによって、支援の幅が変わってくる	・様々な経験をしてきた職員が多い分、児童に合わせた対応がばらついてしまう。	・それぞれ支援の振り返りや話し合いを確保しながらスキルアップに努めていく ・様々な内容の研修を取り入れていきたい
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスアプリコ 沢村教室

公表日 2025年3月13日

利用児童数 30名(内兄弟2家庭)

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2	1		・活動室がもう少し大きく取れればな と良いと思う。	基準は満たしております。 また活動内容に合わせて安全に スペースの確保に努めております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	0	1	0	・職員の入れ替わりが激しすぎる。	職員の退職や異動が多く、ご迷惑をおかけしており ます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2	1	1	・それぞれのスペース(職員のスパー スも含めて)がもう少し広いと生活がし やすいように思う。 ・トイレが少し怖い	トイレや洗面所は空間が別なため、 必要に応じて職員を配置しております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	1		
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	16	1	0	0	・気持ちは十分に感じられるが、専門 性となると首を傾げてしまう対応も見受 けられる。	ご意見ありがとうございます。 研修等を用いながら職員の スキルアップがができるよう 努めていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	17	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されて いると思いますか。	17	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切 に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	17	0	0	0	・出来るようになった事について、い つもしっかり認め評価して頂いてい るが、その先の一步への取り組みが増える と良いと思う。	ご意見ありがとうございます。 常に良い療育を提供できるよう 職員研修や勉強を重ねながら 日々精進して参ります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	17	0	0	0	・いつも沢山工夫をしてくださりあり がとうございます。	ありがとうございます。 今後も精進して参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会 がありますか。	6	1	4	6	・平日にはあまりないように思うが休日 は利用することが不明。 ・どうして地域の子どもたちと交流しな いといけないのか理解に苦しむ。	ご要望が多くあるようでしたら検討して参ります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	17	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	5	4		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	16	1	0	0	・一部の職員とは「はい」だが、全員 ではない。	職員の共通認識理解が図れるよう 努めて参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	6	7		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	15	1	0	1	・車の中での1人がトラウマだが対応し てもらっている。	ありがとうございます。 引き続き適切な対応に努めて参ります。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	0	0	0		月ごとにおたよりを作成・配布させていただき、ホームページにて日々ブログを配信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0		内容に応じてイニシャルを用いております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	1	訓練があったとお便りで知っている。	マニュアルを策定しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	1		年に2回、児童とともに地震と火災を想定した訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	1	0	0	・職員の入替わりが多く、元々不安が強い為、なかなか気持ちの入らない時もある。	疲れや体調、気持ちを考慮しながら、個々に合わせた支援を行っております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	3	0	0	・イベントが楽しそうな為、お休みする日がなかなか見つからない。 ・気分には波あり。	ありがとうございます。 引き続き楽しみを感じていただけるようお子様一人一人との関りを大切にして参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	0	0	・難しい対応が必要な時もあり、どうしても慣れている職員にお願いしたくなってしまう。少しずついいので他の職員も慣れていってほしい。 ・近くにあると楽。	いつもご利用いただきありがとうございます。 常に良い療育を提供できるように研修や勉強を取り入れ精進して参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 放課後等デイサービスアプリコ 沢村教室

公表日 2025 年 3 月 13日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・バリアフリーは行っていない。 (該当利用者がいないため)	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2		・お湯が出ない為、手洗いの際に冷たすぎるの声あり。 ・主に使用するトイレが1つの為、不便に感じる時もあるが必要に応じて、職員用トイレを開放している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・毎日連絡会の中で、共有事項や意見の聞き取りを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		第三者委員会は設置していないため、必要であれば検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		・それぞれのニーズに応じた研修を設けている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・それぞれの児童が利用する際は職員が目につきやすい所へ記載している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・固定化しないよう、利用者が楽しめるプログラムを行っている。 ・児童や保護者の希望も積極的に取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	6	・必ずではないが、気づいた事等あれば共有し相談をしている。 ・必ず行う場は設けられていないが、必要に応じて振り返りの声掛けを行っている。	・時間の確保が難しく支援終了後ではなく、後日行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・年齢や児童の特性に応じて幅広い選択肢を作るにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2		・機会が少ないが関係機関の再把握を行っていききたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		実績はないが、そのような機会があれば行っていききたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	・地域の子どもと活動する機会はないが、他教室との合同イベント等を設け、交流している。	・ニーズがあれば行っていききたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・連絡会や共通ノート等、様々なツールを使用しながら努めている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・プログラムとして行っていないが、ニーズによってアドバイスを行っている。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	・LINE・送迎時・電話での面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	5		・今の所、希望はないが必要に応じて行っていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・必要に応じて迅速かつ適切に対応するように努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・厳守している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5		・行っていないが、必要であれば検討。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・年に2回、児童も一緒に避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	・定期的に聞き取り、情報の更新をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・保護者経由で確認をしている。 ・保護者と情報を共有し、徹底している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・緊急時の対応を事前にお伝えし、把握して頂いている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・全職員の研修と適切な対応に努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	・現在該当する児童が居ない。		